



31. 1. 17
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト02）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト02）を実施します。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動（指揮機関訓練を含む。）により訓練し、連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

2 期間

平成31年2月4日（月）～2月15日（金）

3 場所

饗庭野演習場、今津駐屯地及び明野駐屯地

4 担任官

(1) 陸上自衛隊

第3師団長 陸将 たなか しげのぶ 田中 重伸

(2) 米海兵隊

第3海兵師団長 准将 ウィリアム M ジャーニー (William M. Journey)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

第3師団第7普通科連隊基幹（約600名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、87式対戦車誘導弾、対人狙撃銃、74式戦車、航空機（UH-1、CH-47、AH-1）等

(2) 米海兵隊

ア 部隊

(ア) 第4海兵連隊第2-23大隊基幹（約230名）

(イ) 第31海兵機動展開隊（約110名）

イ 装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、対戦車ロケット砲、航空機（MV-22）等

6 備 考

- (1) 本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在、普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイ等の訓練移転を組み込んで実施します。
- (2) 本訓練における各種訓練課目は、連絡・通報態勢を含んだ万全な安全管理態勢の下に実施します。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、西村 (担当)

(03-3268-3111 内線40084)